



# パートナー通信(第24号)

令和4年2月  
交通・地域安全課

## 県内の犯罪・交通事故発生状況等（令和3年中）

### ◆犯罪発生状況

< 刑法犯認知状況 >

罪種別	認知件数 (前年比)
凶悪犯 (殺人や強盗など)	21件 (-1)
粗暴犯 (暴行や傷害など)	360件 (+25)
窃盗犯 (空き巣や万引きなど)	1,786件 (+54)
知能犯 (詐欺や横領など)	389件 (+177)
その他 (器物損壊など)	599件 (+101)
合計	3,155件 (+356)

< ニセ電話詐欺被害認知状況 >

手口	認知件数 (前年比)	被害額
オレオレ詐欺	0件 (-3)	0円
架空料金請求詐欺	61件 (+39)	約2億2,273万円
還付金詐欺	21件 (+20)	約1,464万円
融資保証金詐欺	6件 (+2)	約1,980万円
その他	9件 (+1)	約1,172万円
合計	97件 (+59)	約2億6,889万円 (+約1億5,664万円)

### 【刑法犯認知件数について】

刑法犯認知件数は、平成期のピークである平成15年(14,454件)以降、17年連続で減少していましたが、令和3年は約350件の増加に転じました。

罪種別で最も多い窃盗犯については、日頃からの鍵かけを習慣づける等の防犯対策を講じることで被害を防ぐことができますので、事業所の皆様におかれましては、事務所や営業車の施錠を確実にを行うなど犯罪なく3ば運動の「鍵かけんば運動」を事業所全体で実践しましょう！

### 【ニセ電話詐欺被害認知状況について】

ニセ電話詐欺（特殊詐欺）は、被害認知件数・被害額ともに大幅に増加しており、被害に遭った方は、10歳代から80歳代までと幅広く、非常に身近で発生している犯罪となっています。

「電話やメールでお金のお話がでたら詐欺」のキーワードをご自身で覚えておくとともに、職場やご家族にも広めましょう。

県警では、県民により分かりやすく広報し、被害防止につなげるため、令和4年1月から「特殊詐欺」から「ニセ電話詐欺」に呼称変更しています。

### ◆交通事故発生状況

\* 括弧の数字は、前年比

発生件数	死者数	負傷者数	飲酒運転事故件数
2,804件 (-183)	27人 (-7)	3,505人 (-226)	32件 (+9)

### 【交通事故発生状況について】

前年と比べ、交通事故の発生件数、死者数、負傷者数のいずれも減少しましたが、全死者数(27人)に占める高齢者の死者数(21人)の割合が77.8%と高く、また、飲酒運転による事故が増加しています。

パートナー事業所では、社内において安全運転研修や飲酒運転根絶宣言など交通事故防止に積極的に取り組んでおられ、今後もこの種取組を通じて交通事故の防止に努めてください。

～裏面においてパートナーシップ事業所の活動を紹介しています～



## パートナーシップ事業所の活動紹介



### 九州電力送配電株式会社 佐世保配電事業所

佐世保配電事業所では、犯罪のない安全・安心まちづくり推進旬間（10/11～10/20）に事業所近くにある小学校の下校時間にあわせ、佐世保警察署員とともに見守り活動を行い、また、毎月第2火曜日には、事業所周辺の清掃活動を行い、地域の環境美化活動に取り組んでいます。



### 九州電力送配電株式会社 平戸配電事業所

平戸配電事業所では、10月14日、九州電力株式会社平戸営業所と合同で、事業所周辺の道路及び沿岸の清掃活動を行い、漂流ゴミが多くあった沿岸部はきれいになり、まちの環境づくりに貢献しました。

### 九州電力送配電株式会社 大村配電事業所

大村配電事業所では、事業所内外に、パートナーシップのぼり旗を設置し、安全・安心まちづくりの取組を周知するとともに、事業所の机・ロッカーや車両等への確実な施錠指導を行うなど「鍵かけんば活動」に取り組んでいるほか、毎朝、社員が事業所周辺の清掃活動を行い、地域の環境美化活動に取り組んでいます。

交通安全については、全従業員が「飲酒、酒気帯び運転撲滅宣言」を行ったほか、車両に「全席シートベルト着用」のシールを貼付し、交通安全推進期間中には、従業員が「安全の誓い」（安全行動宣言）を作成し安全行動の動機付けに取り組むなど、年間を通じて従業員の交通安全意識の啓発に取り組んでいます。

### 九州電力送配電株式会社 島原配電事業所



島原配電事業所では、従業員の安全への意識づくりのため「アクションZERO」（事業者、労働者、労働基準監督署等が協力して、労働災害の撲滅を目的として取り組む安全活動のこと）に参加しました。

また、従業員の家族に対し、飲酒運転をした場合の影響などを記載した飲酒運転防止への協力依頼文書とあわせ、長崎県警察発行のパンフレットを発送し、飲酒運転防止への意識づくりを図りました。

さらに、事業所内に交通安全ポスター等を掲示しているほか、他の事業所で発生した交通事故事例を事業所内で共有し、交通安全意識の啓発に取り組んでいます。

### 九州電力送配電株式会社 五島配電事業所

五島配電事業所では、事業所内にパートナーシップのミニのぼりを設置したり、パートナー通信を事業所内に掲示して、従業員や来客者の防犯意識高揚に努めるとともに、毎月1回、始業前又は終業後の事業所周辺の清掃活動にあわせ、見回りや道路状況の点検を行いました。

交通安全については、毎日の朝礼時に「安全標語日めくりカレンダー」の標語等を従業員が唱和し、交通安全意識の共有を図っているほか、月に1回、従業員により安全講話を行っています。

さらに、毎月のグループ研修において安全運転に関する知識テスト等を通じて交通安全に対する意識を高めています。



【安全標語日めくりカレンダー】

